

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成30年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (保費別)	1,400万円 (保費別)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 最高償付額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)			
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料 (1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
	天災タイプ(※) (震災タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災免除特約特約事項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険、約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約付旅行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約先

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引継ぎ先〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

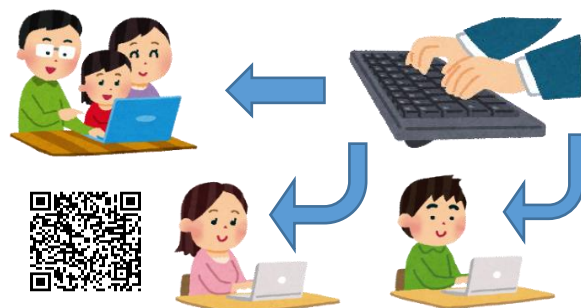
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一任して締結する団体契約です。

(SUNK17-18970 2019.1.9現在)

ボランティアセンター情報をご覧ください。

鹿屋市ボランティアセンターでは、ボランティア登録団体の活動PR等、より身近な情報を提供しております。ボランティア情報の他に、講座やイベントの情報も随時更新しますので、興味のある方は、ぜひ鹿屋市ボランティアセンターのホームページをご覧ください

<http://www.kanoyasyakyou.jp/page12.html>



QRコード

福祉機器のリサイクルを行っています。

市民の皆様から使わなくなった福祉機器を無料で提供していただき必要とされる方に無料でお譲りしています。



●提供していただきたいもの

- ・車いす
- ・特殊寝台(電動ベッド、ギャッチベッド)

*1 *2

- 譲渡ができる人は市内に居住し、障がい、高齢、疾病等により福祉機器を必要とする方

- *1) 良好な使用状態にあるもので、職員が機器の状態を確認のうえ、台帳に登録します。
- *2) 譲り受ける人が見つかるまでの期間、機器の保管は提供してくださる人をお願いします。

- 申込方法など詳しいことは、お問合せください。

平成30年度ボランティア養成講習会がはじまりました!

鹿屋市社会福祉協議会では、視覚・聴覚に障がいを持つ方々の自立と社会参加活動の促進を図ることを目的に、下記のとおりボランティア養成講習会を開催しており、現在28名の方々が受講されています。



手話奉仕員養成講習会

期間：H30年4月17日からH31年3月5日まで（全45回）
毎週火曜日 19：00～21：00（2時間）

内容：初級レベルの指文字や簡単な日常会話を学び、講習会後半より上級者向け（基礎課程）の基礎応用について学びます。



点訳奉仕員養成講習会

期間：H30年4月20日からH30年8月3日まで（全14回）
毎週金曜日 13：30～16：30（2時間）

内容：目の不自由な人にパソコンを使って文字や文章などを点字に直して伝えるコミュニケーション手段について学びます。



要約筆記奉仕員養成講習会

期間：H30年4月24日からH30年10月9日まで（全11）
毎月第2・4火曜日 13：00～16：00（3時間）

内容：耳の不自由な人に話の内容などの要点を取りまとめて文字で伝えるコミュニケーション手段について学びます。



音声訳奉仕員養成講習会

期間：H30年4月26日からH30年9月13日まで（全10回）
毎月第2・4木曜日 13：30～15：30（2時間）

内容：目の不自由な人に本や広報誌などの情報を音声に直して伝えるコミュニケーション手段について学びます。

福祉体験出前講座のご案内

- Aコース**：福祉やボランティアについて
- Bコース**：障がい者との交流
- Cコース**：地域の高齢者とのふれあい
- Dコース**：手話体験
- Eコース**：災害ボランティアについて
- Fコース**：認知症サポーター養成講座
- Gコース**：体験学習

※各コース組み合わせが出来ます！



コース名	内容	所要時間
Aコース	福祉やボランティアについて、その年代やご希望の内容にあわせて説明します。	20分～60分
Bコース	障がい者(体の不自由な方、目の見えない方、耳の聞こえない方)の体験談を聞いたり、質問をしたりして、障がいについての理解や関心を深める。	45分～90分
Cコース	地域の高齢者と子どもの世代間交流で昔話や作品づくり等を通じて地域の方との交流を深める。	60分～
Dコース	耳の不自由な人とのコミュニケーション「手話」。指文字やあいさつなど簡単な手話について勉強する。	60分～120分
Eコース	万が一の災害に備えて、災害ボランティアとして必要な知識と技術を学びます。炊出し訓練や救命救急法など希望の内容に応じて説明します。	45分～
Fコース	認知症の理解や、関わり方について寸劇をまじえながら学びます。子どもから大人までとっても分かりやすい講座です。	45分～120分
Gコース	高齢者疑似体験、車いす体験、アイマスク体験を通じて、高齢者や障がい者の理解とバリアフリーについて考えます。	45分～ (人数に応じて調整)

※申込みについては1カ月ぐらい前までにお願いします。また、上記以外でも希望の内容に応じて調整いたします。